

第3章 多摩ボランティアセンターの活動の概要

多摩ボランティアセンター2015年度活動総括

多摩ボランティアセンター長 馬場敏幸

2015年のボランティアセンターは、「学生スタッフによる自律的な企画運営の推奨」、「地域との絆強化」を大きな柱として活動に取り組みました。2014年度はボランティアセンター運営の地盤固め（「業務日誌」による記録と情報・問題共有、「来室者統計」による現状・ニーズ把握、認知度向上のための「多摩ボランティアセンターパンフレット」、安心してボランティア活動に取り組むための「ボランティア心得」、サークルのボランティア紹介のための「多摩キャンボランティアサークルパンフレット」、業務遂行の手引きとなる「業務マニュアル」、地域交流センターとの定期的な情報交流、広報室との連携による積極的な活動の開示、など）を行いました。今年度はこれらが自律的に運用され、センター運営の基盤が固まりました。また昨年までの懸案であった地域交流センターとの関係について、「地域交流センターでは継続的・プロジェクト的な地域協力やコーディネーターの調整業務を必要とする地域協力を主に受け持つ」、「多摩ボランティアセンターでは、地域からのボランティア要請を受けて多摩キャンパス学生全般に紹介・仲立ちをすること、多摩キャンパスの学生が誰でも参加可能なボランティアの企画・募集をすること、そして全学学生センターが決定した全学企画ボランティアの募集をすること、を主に受け持つ」との昨年合意を踏まえ、本年度以降も定期的に連絡協議をもち、それぞれの情報を共有して協力していくことになりました。こうした様々な運営基盤の強化により、本年度は、より積極的にボランティア活動推進に注力出来るようになりました。

一つ目の大きな活動である「学生スタッフによる自律的な企画運営の推奨」についてですが、多摩ボランティアセンターの伝統的な方針として学生の自主性を尊ぶというすばらしい気風がありました。その伝統に立ち返ろうというものでもありました。放任ではなく、見守り、育んでいくというのが基本方針です。すなわち、学生の自主的な発想と活動を尊重し大切にしつつ、ボランティアセンターで実施するプロジェクトとして妥当なのか、準備や実施に無理はないのか、安全性は確保出来ているのか、責任を持って遂行できるのか、スケジュール管理と進行は妥当なのか、などに気を配って見守るのです。必要な根回しや書類などをそっとサポートすることもあるし、相談に乗ったり助言をしたりフォローしたりすることもあります。そうして見守られているという安心感のもと、学生スタッフらが存分にアイデアをふくらませ、ボランティアプロジェクトを実現し、成長していったらいいのではとの考えです。

昨年は2名だった学生スタッフも、2015年度には新たに6名の学生が参加し、学生スタ

ップは総勢 8 名になりました。昨年からの 2 名、代表の中根さんは次の世代を育てようとしているのが頼もしく、副代表の神藤さんはムードメーカーとして学生グループ内の絆を強めてくれました。新メンバーたちもめざましい活躍を見せてくれました。東日本大地震からの復興を支援する「気仙沼プロジェクト」、大学と地域小中学校との往復を容易にする「学びの道整備プロジェクト」、「相原地区自治メンバーとの交流」などを実現させていったことは彼らにとってもセンターにとっても大きな経験と財産になりました。成長し、自信をつけていく彼らを見るのは、本当に頼もしく嬉しいものでありました。年末の学生ボランティア活動報告会では本年度からの新設として、リーダー学生たちへの感謝状贈呈も行いました。彼らの活動を称え感謝する気持ちをこめ毛筆で名前をしたためました。

さて二つ目の「地域との絆強化」について、「多摩地粋交流会～つながりナイト・聴かないと・うどん NIGHT～」を開催し、地域自治会のみなさま、地域教育・福祉・文化施設のみなさま、近隣大学のみなさま、行政のみなさまをお招きし、交流を深めました。本年度からはじめたばかりの取り組みでありましたが、地域とのつながり強化と、ニーズ把握に大きく資するものでありました。直にお会いしてお話をさせて頂く大切さを改めて実感するとともに、こうした取り組みを継続させていく大切さを切に感じました。

2015 年度を数字でふり返ってみると、来室者総数は 517 名（うち学生 464 名）、相談件数 388 件、登録者数 151 名、ボランティア紹介人数は 181 名となりました。実施したボランティアプロジェクトは 23 件でした。前年に比べて来室者数と相談件数はやや減少しましたが、登録者数が 22 名増え、ボランティア紹介人数は 79 名も増えました。登録者とは相談者のうちボランティアセンターからの情報メールを希望した人のことで、2015 年末時点で現代福祉学部（79 名）が圧倒的に多く、社会学部（37 名）、経済学部（27 名）となります。スポーツ健康学部が 8 名と圧倒的に少ないですが、昨年は 0 名だったことを考えると着実な進歩です。また経済学部も昨年の 13 名からの倍増となりました。数字にも基づき、ニーズ把握と課題、そして取り組みの実効性を確認していければと思います。

私自身の在任期間であるこの 2 年をふり返ってみると、2014 年度は多摩ボランティアセンター再始動への取り組み、活動内容の明確化、学生・地域サポートのための事務体制の構築、学生スタッフとの協力による各種ボランティアの紹介・企画などを行いました。そして 2015 年度はそれらを引き継ぎつつ、学生による自主的なボランティア活動の強化、そして地域との絆強化に取り組みました。私自身の直接的なセンターへの関わりはこれだったん終了ですが、ボランティアセンターへの支援、学生のみなさんと地域とのつながり、学生のみなさんの学びを深めるため、今後とも貢献していければと考えています。

最後に 2015 年度の活動を一緒に取り組んできた佐藤課長、須田さん、山田さん、岡崎さん、学生スタッフのみなさん、地域のみなさま、関係したみなさまがたに心からの謝意を申し上げます。ありがとうございました。

① 町田市立ゆくのき学園「小学校体力テスト」補助ボランティア

日時：2015年4月28日（火） 8：45～11：45

場所：町田市立ゆくのき学園（相原町 3765-3）

概要：

1. 内容

町田市立ゆくのき学園大戸小学校の体力・運動能力、運動習慣等調査（体力テスト）補助ボランティアを実施した。子ども発達研究会 GROWTH のメンバー3名が事前準備や低学年児童の記録の計測を行った。

2. 参加者数

3名

3. 背景・目的

- ・ゆくのき学園大戸小学校副校長より依頼があり実現。
- ・異世代との交流を通じたボランティアの実践。

町田市立ゆくのき学園 開催フィールド募集 | 1日限定ボランティア

大戸小学校 「小学校体力テスト」低学年の計測補助ボランティア募集

法政大学の協賛で、町田市立ゆくのき学園大戸小学校で行われる「体力、運動能力、運動習慣等調査（体力テスト）」の計測補助ボランティアです。学校用意を行うものですが、当日は各学年の計測の手伝い等して実施します。

日時：4月28日（火）8：45～11：45
1校時 8：45から
2校時 9：40から
3校時 10：50から
4校時 11：45から
※定員枠参加出来ない場合がございます。

場所：町田市立小中一貫ゆくのき学園 大戸小学校（東京都町田市相原町 3765-3）
定員：10名（定員になり次第締め切らせていただきます）
申込：ボランティアセンター窓口、もしくは電話、メールにてお申込み下さい。

申込・問い合わせ
ボランティアセンター（Egg Dome2 2F）
TEL 042-783-2073（E-Mail: bscc@bomta.ac.jp）
時間 平日 9：00～11：30 12：30～17：00



事前準備



立ち幅跳びの補助

② ヴィラ町田 傾聴ボランティア&Voice of Winds 演奏会

日時：2015年5月6日（水） 13：30～16：00

場所：介護老人福祉施設 ヴィラ町田（相原町 4391-7）

概要：

1. 内容

介護老人福祉施設「ヴィラ町田」で吹奏楽サークルVoice of Windsのメンバー17名による演奏会、学生ボランティア3名による傾聴ボランティアを行った。

2. 参加者数

20名

3. 背景・目的

- ・介護老人福祉施設でのボランティアを体験し、関心を深めてもらう。
- ・自身の特技をいかしたボランティア活動を行う。

4. 参加者の感想

「利用者さんの温かい拍手の中、大変楽しく演奏させて頂きました。皆様に喜んで頂けたようで嬉しいです。今後こうした活動を継続することで学生と高齢の方の交流する場を築いていけたらと思います。」

「サークルとしてボランティア演奏を行うことは初の試みだったため、準備が足りない部分も多くありました。しかし、実際に演奏を終えてみると多くの方から拍手を頂いたり、また笑顔になってくださったりしたので、とても充実した時間だったと感じました。また機会があればこのような演奏を行いたいです。」



屋外での演奏会



演奏を終えて

③ 町田市立ゆくのき学園 ボランティア見学会

日時：2015年5月8日（金） 15：30～17：00

場所：町田市立ゆくのき学園（相原町 3765-3）

概要：

1. 内容

新学生スタッフがゆくのき学園を見学。ゆくのき学園ボランティアコーディネーターより日頃本学学生がどのような活動を行っているか説明を受け、校内見学を行った。

2. 参加者数

3名

3. 背景・目的

- ・ボランティア協定校であるゆくのき学園での活動を知る。

4. 参加者の感想

「私は小中学校と別の学校に通っていたので小中一貫、また各学年が一クラスのみであるということに驚きました。各学年間のつながりが深いのだなと感じると同時に、こんなおもしろいところで学ばせていただけることに対する喜びと期待で胸がいっぱいです。」



ゆくのき学園でのボランティア活動について説明を受ける



校内見学

④ ボランティア学生交流会～春カフェ～

日時：2015年5月14日（木） 12:50～13:30

場所：多摩キャンパス EGGDOME2階 フリースペース

概要：

1. 内容

新入生向けに、多摩ボランティアセンターおよび各ボランティアサークル活動をパネル展示と映像で紹介。EGGDOME内のキッチンスペースをカフェに見立て、学生同士の交流と情報発信の場を設けた。

また相原地域の名産品である明月堂「相原ロール」の試食会を行った。

2. 参加者数

22名

3. 背景・目的

- ・学生同士が交流し、互いの活動を知る機会を設ける。
- ・多摩ボランティアセンターやボランティアサークルの活動に関する情報の発信。

4. 参加者の感想

「地域のスイーツがあることに驚いた。地域の資源を知るいい機会になったと思う。普段関わりのない人たちとも交流できる場になった。」

「ボランティアサークルの一覧が見られたのが良かった。」



学生同士の交流



相原ボランティアマップに情報提供

⑤ 町田市立ゆくのき学園 運動会協力ボランティア

日時：2015年5月30日（土） 9：00～15：00

場所：町田市立ゆくのき学園（相原町 3765-3）

概要：

1. 内容

町田市立ゆくのき学園で運動会が開かれ、児童・生徒の誘導や地域の方との交流を行った。また、本学学生サークルである YOSAKOI ソーランサークル「鳳遙恋」30名と、フラダンスサークル「Pua Lilia」4名が演技を披露した。1名が競技進行の補助ボランティアを行った。

2. 参加者数

40名

3. 背景・目的

- ・サークル活動の活性化。
- ・地域行事に参加し、多世代の方々との交流を図る。

4. 参加者の感想

「4人での参加で緊張していたのですが、お天気もとてもよく、日光と沢山の温かい視線を浴びて自然と笑顔で踊ることができました。そして自分達のフラが子どもたちや大人の方々にこんなにも喜んでもらえるということがとても嬉しく、今後また地域のイベントに参加させていただく機会が楽しみになりました。」

「途中の乱舞では生徒さんや先生方がとても笑顔で楽しそうに踊っていたのが印象的でした。運動会で踊る機会は滅多にないので、私たちもとっても楽しむことができました！」



フラダンスを披露してくれた「Pua Lilia」



「鳳遙恋」による演舞

⑥ 相原地粋交流会～つながらナイト・聴かないと・うどんで NIGHT～

日時：2015年7月15日（水） 18：00～19：40

場所：うどん屋開都（相原町2180-1）

概要：

1. 内容

町田市うどん屋開都にて、相原地域の方々との交流会を行った。

第1部では学生スタッフが活動報告を行い、本学学生サークル「JazzStudyClub」4名が演奏を披露した。

第2部は相原地域の方々と大学との情報交換会・懇親会となった。

2. 参加者数

43名

3. 背景・目的

- ・相原地域の方々との情報交換、交流を図る。
- ・大学・地域間の連携をより活性化する。

4. 参加者の感想

「お店の一角での演奏は初めてで、うまくいくか少し不安でしたが、とても楽しく演奏できました。」

「いつもお世話になっている方々や、普段関わることのなかった地域の方々と交流できる良い機会になりました。今後の相原地域の活性化に向けて学ぶことがたくさんあり、これからの活動に役立てていこうと思います。」



学生スタッフによるプレゼンテーション



JazzStudyClubによる演奏

⑦ 相原町八雲神社清掃ボランティア

日時：2015年7月29日（水） 13：00～14：00

場所：相原町八雲神社（相原町 4393）

概要：

1. 内容

相原町大戸地区の鎮守様八雲神社に日頃の活動の無事を感謝し、ボランティアの安全を祈願した。又第二次世界大戦で亡くなった相原町の方の慰霊碑の清掃を行い冥福を祈った。

2. 参加者数

5名

3. 背景・目的

- ・相原地域を知る。
- ・大学・地域間の連携をより活性化する。

4. 参加者の感想

「相原地域にも戦没者がいらっしやったことを初めて知りました。これからも相原地域のことについて、より知識を深めていきたいと思いました。」



慰霊碑を清掃



ボランティアツアーの成功を祈願

⑧ 八王子まつり山車曳き体験ボランティア

日時：2015年8月8日（土）・8月9日（日） 11：30～15：00

場所：八王子駅周辺甲州街道

概要：

1. 内容

高齢化が進み曳き子が不足している八王子市本町連合会と八幡上町会で山車曳き体験ボランティアを行った。曳き役衆の進行にしたがって、山車の曳き綱を曳いて歩いた。

2. 参加者数

日程	参加者数
8月8日（土）	2名
8月9日（日）	3名

3. 背景・目的

- ・江戸時代に始まった祭りの理解、伝統文化に触れる。
- ・地域、市民との交流をはかる。

4. 参加者の感想

「自分の地域でこういった大きなお祭りの経験がなかったので、ボランティアとしてだけではなく、一曳き手として楽しめ、また充実した体験でした。」

八王子まつり 山車曳き体験 ボランティア募集

日時：①8月8日（土）・8月9日（日）
の1日間
場所：甲州街道周辺で設定する町会の進行範囲
内容：設定された町会の曳き役衆の進行にしたがって、山車の曳き綱を曳いて歩きます。
参加予定町会：①本町連合会 ②八幡上町会
対象：八王子地域 55 大学等の学生
応募締切：7月27日（金）まで
募集人数：各町会 15 名程度（先着順）
参加費：無料
申込方法：①各町会ボランティアセンター（EODOME2F）にて申込。
②メールにて「八王子まつりボランティア」としお名前、学年、学年、学年、学年、電話番号、希望町（同日可）を送信してください。
その他：参加者町会、集合時間・場所等詳細は日連絡します。




申込み・お問い合わせ
山車ボランティア（EODOME2F）
TEL: 042-783-2075 E-mail: tanoc@honi.ac.jp
URL: 8:00-11:30/12:30-17:00



コンソーシアム八王子加盟校の学生と



山車を曳き練り歩きました

⑨ 宮城県被災地ボランティア～気仙沼でつながり NIGHT～

日時：2015年8月13日（木）～8月16日（日）

場所：宮城県気仙沼市本吉町

概要：

1. 内容

気仙沼市内で開かれる「大谷海岸祭り」支援をメインに、震災展示見学や
レクチャー、慰霊、視察などを通じて被災地復興の実情を学習した。

2. 参加者数

日程	参加者数
8月13日（木） ～8月16日（日）	学生15名 (教職員2名)

3. 背景・目的

- 被災地のニーズに基づいた活動を計画、実施。
- 異世代との交流を通じたボランティアの実践。

4. 参加者の感想

「実際に語り部さんの話を聞いたり資料館で自分たちが行った場所の震災前の写真を見たりすることで、ここで津波が
起こり、たくさんの人の命が奪われたということを実感しました。自分の目で実際に被災地を見て、風化させてはいけ
ないと思いました。」

「このボランティアを通して“人の優しさ”を感じました。地域の方がすごく私たちに良くしてくれて、少し時間が空
いていると話しかけてきてくれて私たちを笑わせてくれたり、お母さん方がおにぎりをつくって持ってきてくれたり、
新鮮な野菜を持ってきてくれたり・・・と地域の方の温かさを身に染みて感じられました。」



BRTの前で



語り部さんよりお話を伺う

⑩ 2015 夏の学生ボランティア活動報告会～広がる世界、つながる仲間～

日時：2015年10月6日（火） 18：10～19：30

場所：明星大学 日野キャンパス

概要：

1. 内容

日野市明星大学にて、明星・中央の学生とともに、本学学生スタッフが「宮城県被災地ボランティア～気仙沼でつながる NIGHT～」の活動と今後の課題について報告を行った。

2. 参加者数

2名

3. 背景・目的

- ・報告会を通じて大学間の交流を深める。
- ・他大学のボランティア活動を知り、今後の活動に生かす。

4. 参加者の感想

「大勢の人の前での報告で、緊張しましたが、雰囲気よかったですので思ったとおりに発表できました。『東京からの移動に青春18きっぷで10時間かかってへとへとになった』という話をしたら、会場の人たちが共感して盛り上がりくれたので良かった。」

「今日の交流で同じ大学生の友達がたくさん増え、良い刺激を受けました。他の学生たちの発表を聞いて、いろいろなことを知ることができたので、これからの自分たちの活動にも生かしていきたいと思います。」



学生スタッフによる報告



学生、教職員、地域の方々およそ100人以上が来場

⑪ 大戸緑地ふれあいフェスタ・雑木林コンサート

日時：2015年10月24日（土） 10：10～15：00

場所：大戸緑地（相原町）

概要：

1. 内容

大戸緑地にて行われたイベントに、本学学生サークルである IVUSA と JazzStudyClub が参加。IVUSA はふれあいフェスタにて地域の方と交流し、JazzStudyClub はコンサートを披露した。

2. 参加者数

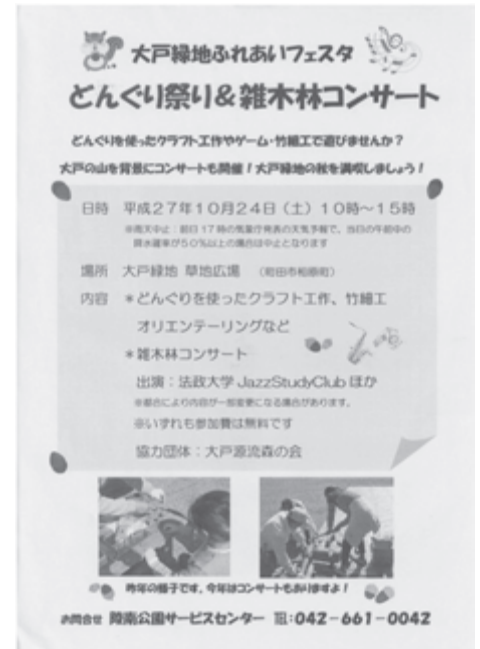
11名

3. 背景・目的

- ・本学学生サークル同士のコラボレーション。
- ・多世代の人々との交流。

4. 参加者の感想

「青空の下、豊かな自然の中でジャズを演奏する体験はとても新鮮で、気持ちよかったです。」



ふれあいフェスタ運営を支えた IVUSA



Jazz Study Club は演奏を披露した

⑫ 八木重吉さんのお墓参りと清掃ボランティア

日時：2015年10月26日（月） 12:30～13:30

場所：八木重吉記念館（相原町 4473）

概要：

1. 内容

相原町出身の詩人八木重吉さんの命日に合わせ、お墓参りと墓地清掃のボランティアを行った。

また、生家である八木重吉記念館で資料を見学した。

2. 参加者数

7名

3. 背景・目的

- ・大学周辺にゆかりの文化人の足跡を訪ね、継続的なボランティア活動につなげる。
- ・先祖を参り、その功績について学ぶ。

4. 参加者の感想

「八木重吉さんの名前は知っていたけれど、相原と関わりがあることは知らなかった。記念館では教科書で見たことがあるような八木重吉さんの詩などが見られて感動した。」

「地域の人たちと関わる場になったし、地域の情報交換のいい機会になってよかった。」


相原町出身の詩人 現代福祉学部フィールド体験！対象ボランティア

八木重吉さんのお墓参りと清掃ボランティア

町田市相原町出身の詩人、八木重吉さんの命日である10月26日に合わせて、八木重吉さんのお墓参りと清掃のボランティアを実施します。相原地域を知るための貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

日時：10月26日（月）12:50～14:00（3限授業の方は13:20まで）
集合：EGG DOME階段下 12:50
会場：八木重吉記念館（町田市相原町4473）
定員：10～20名程度
参加費：無料
備考：動きやすい服装でご参加ください※軍手、ゴミ回収袋はセンターで用意します
申込：多摩ボランティアセンター、もしくはメール、電話にて
10月22日（木）までにお申込みください

申込・問い合わせ
多摩ボランティアセンター（EGG DOME2階）
【TEL】042-783-2073 【E-mail】tama-VC@hosei.ac.jp
【開室】平日 9:00-11:30 12:30-17:00



墓地、記念館周辺の清掃



故人の生家である記念館の前で

⑬ 秋カフェ～夏ボラ報告会～

日時：2015年11月2日（月） 12：50～13：30

場所：法政大学 多摩キャンパス EGGDOME2階 フリースペース

概要：

1. 内容

被災地ボランティアを中心に、夏期ボランティアについて報告、パネル展示、活動映像上映を行い、多摩ボランティアセンターの活動に関する情報発信を行った。パネル展示は11月6日（金）まで行われた。

2. 参加者数

6名

3. 背景・目的

- ・学生同士の交流の場を設ける。
- ・多摩ボランティアセンター、学生スタッフの活動に関する情報の発信。

4. 参加者の感想

「被災地ボランティアの動画を見ていたら、そのときのことを思い出した。10分くらいの映像だったのだけど、あっという間に終わったように感じた。」



活動風景映像の上映



被災地ボランティアを中心としたパネル展示

⑭ クローバー保育園 ピアノ演奏会

日時：2015年11月30日（月） 16:00～17:00

場所：クローバー保育園（相原町3338-1）

概要：

1. 内容

クローバー保育園にて、本学学生2名がピアノ演奏を披露。園児たち、迎えに来た保護者の方たちの前でリクエスト含め計20曲を演奏した。

2. 参加者数

62名

3. 背景・目的

- ・異世代との交流を通じたボランティアの実践。
- ・自身の特技をいかしたボランティア活動を行う。

4. 参加者の感想

「自分達の演奏で、子どもたちが楽しそうにしてくれ、みんなが参加できる会になってとても嬉しかったです。小さい子どもと関わるのは久しぶりで少し緊張していましたが、楽しそうにしてくれたのでホッとしました！是非機会があったら、子どもたちが好きそうな曲をたくさんリサーチして、また演奏しに行きたいです。」

「小さな子供たちは知ってる曲だとノリノリになって歌ってくれて、演奏している方もとても楽しむことができました。いずれ、「あのお姉さん達のピアノ、すごかったな」と思い出して、音楽に触れるきっかけとなれば幸いです。」



リクエストに応じて演奏



子どもたちからのお礼のプレゼント

⑮ ヴィラ町田 クリスマス☆ボランティア

日時：2015年12月16日（水） 15:30～16:30

場所：介護老人福祉施設 ヴィラ町田（相原町 4391-7）

概要：

1. 内容

介護老人福祉施設ヴィラ町田にて、クリスマスボランティアを行った。

参加学生が利用者一人一人に手作りのクリスマスカードを配り、各ユニットごとに「きよしこの夜」の合唱を披露した。

2. 参加者数

84名

3. 背景・目的

- ・異世代との交流を通じたボランティアの実践。
- ・高齢者分野への興味、関心、知識を深める。

4. 参加者の感想

「クリスマス会では、特に、手作りのクリスマスカードをプレゼントしたときのみなさんの喜ぶ表情や嬉しい言葉をいただけたことがとても印象的でした。クリスマスソングも想像以上に盛り上がり、わたしたちも楽しむことができました。ぜひまたクリスマス会を行いたいです。」

「クリスマスソングを利用者の方々が笑顔で聞いてくれ、また楽しそうに歌われる姿を見ることができてとても充実した時間を利用者の方々と過ごすことができました。今後も継続して、学生と高齢者の方々との交流の機会を作っていけたらと思います。」



各ユニットを回る



クリスマスカードを贈り、傾聴も行った

⑩ キャンパスから被災地を応援するフェア～あなたの1食が気仙沼を元気に～

日時：2015年12月15日（火）～12月17日（木）

場所：多摩キャンパス EGGDOME2階 Slow World Cafe

概要：

1. 内容

学生スタッフが食堂「Slow World Cafe」と協力し、気仙沼産の食材をつかったオリジナルメニューを考案・販売した。同時に食堂内で被災地ボランティアに関するパネル展示を行った。

2. 参加者数

60名

3. 背景・目的

- ・被災地である気仙沼の産業を支援する。
- ・継続的な被災地支援の実践。

4. 参加者の感想

「とても美味しかった。ボランティアセンターが行っている被災地ボランティアについて知る機会となった。」



1日限定20食で販売



被災地ボランティアパネルの展示

⑰ 学生ボランティア 2015 年度活動報告会

日時：2015年12月18日（金） 15：10～17：00

場所：多摩キャンパス EGGDOME5階 研修室1・2

概要：

1. 内容

多摩キャンパスではサークルやグループが多種多様なボランティア活動に取り組んでいる。報告会では地域の方をお招きして、5団体の学生が自身の活動内容、学んだことについて報告を行った。

2. 参加者数

36名

3. 背景・目的

- ・日頃の活動を通して学んだことを発表し、振り返りの場とする。
- ・各自の活動に対する評価と助言を受け、今後の活動に生かす。

4. 参加者の感想

「多摩キャンパス内に、私が知らない様々なボランティア活動があると実感しました。各報告を伺い、具体的な活動内容などは理解できましたが、『なぜ、その活動を始めたのか・活動前後での心境の変化・どんな学びや苦勞があったのか』この一連のストーリーが発表内容に盛り込まれることで、良き発表となるはず。単に活動内容の報告を超えた、聞き手の心が動かされるような発表を、今後期待したいです。」

「今後とも範囲を広げ活動していけたらと思います。」



仁平典宏先生による講評



参加者全員で記念撮影

⑱ 「学びの道」整備ボランティア

日時：2016年2月2日（火） 9：30～10：30、13：00～16：00 / 3月13日（日） 10：00～12：00

場所：多摩キャンパス スポーツ健康学部棟奥

概要：

1. 内容

多摩キャンパスと、ボランティア協定校である町田市立小中一貫ゆくのき学園を結ぶ新しい道、「学びの道」の整備を行った。当日はゆくのき学園・大戸源流森の会の方々も参加し、参加学生と交流を深めた。

2. 参加者数

日程	参加者数
2月2日（火）	12名
3月13日（日）	6名

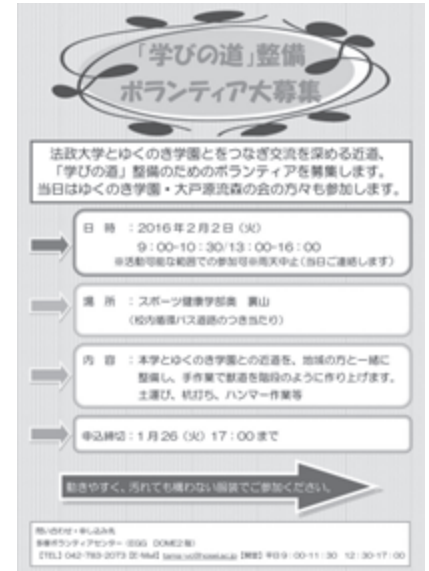
3. 背景・目的

- ・ゆくのき学園とのつながりをより強固なものにする。
- ・異世代の方々と協力し合い、地域との交流を深める。

4. 参加者の感想

「午前中に小6の里山授業に参加して活動を知ったが、実際に体験してみて分からない事が多く戸惑った。これからできて行けば良いと考えている。80段作ることが楽しみ。」

「今回ボランティアは初参加であった。色々指導頂きありがとうございました。作業は大変だったが、5段と形になるのは嬉しい。次回も頑張りたい。」



段差となる杭を作ります



完成を目指してこれからも続けていきます

①9 大学生ボランティア活動報告&防災イベント

日時：2016年2月4日（木）～2月11日（木）

場所：イオンモール多摩平の森（日野市多摩平2-4-1）

概要：

1. 内容

他大学と合同で、被災地ボランティアについてパネル展示と活動報告を行った。
また、同時に開催された防災イベントにも参加した。

2. 参加者数

47名

3. 背景・目的

- ・ボランティアを通じた他大学との交流。
- ・他大学の学生の活動を知り、自分たちの今後の活動に生かす。

4. 参加者の感想

「このようなお互いの活動を知ることができるような場が設けられたらいいと思う。」

「ボランティアを介する交流以外の交流会も良いかなと思いました。また、様々な大学のキャンパスツアーを地域の方と大学生合同で行うのも面白いかなと思います。」



パネル展示



学生スタッフによる報告

②〇 学生活動報告会 [学生フォーラム]

日時：2016年2月11日（木） 13:00～16:00

場所：町田市生涯学習センター7F ホール（町田市原町田 6-8-1）

概要：

1. 内容

「地域おこし」「まちおこし」をテーマに、町田・相模原で活躍する大学学生団体がパネルディスカッション、ポスターセッションを行った。本学学生スタッフ2名を含め、全7団体が参加した。

2. 参加者数

45名

3. 背景・目的

- ・ボランティアを通じた他大学との交流。
- ・相原地域で行ってきた活動を学外に向けて発信する。

4. 参加者の感想

「団地や東北の被災地などそれぞれの地域で活躍する多くの方々と交流することができ、また自分たちの活動を多くの方が興味を持って聞いてくださり多摩ボランティアセンターをPRすることとともに志を持った大学生と横のつながりを作ることができ楽しい時間を過ごすことができた。」



パネルディスカッション



ポスターセッション

21 2015 年度活動パネル展

日時：2016年3月1日（火）～3月7日（月）

場所：町田市生涯学習センター7F ミニギャラリー（町田市原町田6-8-1）

概要：

1. 内容

多摩ボランティアセンターがこの一年間で行ってきた相原町内での個人、音楽系・ダンス系学生サークルが参加した保育園、小中学校、高齢者福祉施設、八木重吉記念館、大戸緑地での活動の様子、町内会とのコラボレーションや、夏休みに実施した気仙沼市内の復興支援企画等をパネル展示で紹介した。

2. 参加者数

7名

3. 背景・目的

- ・この一年間の活動を振り返る。
- ・本学学生の活動を地域の方に向けて発信する。

4. 参加者の感想

「多摩ボランティアセンターのことを知らない人もいたので、今回のパネル展で活動を町田の人たちに見てもらえてよかった。これからも継続して続けていきたい。」



展示したパネル



アンケートを設置。パンフレット等の配布も行った

22 町田市民文学館ことばらんど表敬訪問

日時：2016年3月7日（月） 14：00～16：00

場所：町田市民文学館ことばらんど（町田市原町田 4-16-17）

概要：

1. 内容

学生スタッフが町田市原町田の「町田市民文学館ことばらんど」を表敬訪問した。町田市の文学史について学芸員の方よりご説明頂き、八木重吉記念館支援で交流のある和菓子中野屋の杉浦信男氏に、多摩ボランティアセンターと町田市がこれからどのように関わっていくべきかについてお話を伺った。

2. 参加者数

8名

3. 背景・目的

- ・ボランティア支援をしている八木重吉さんを含め、町田市の文学史についての知識を深める。
- ・多摩ボランティアセンターと町田地域のつながりを強化する。

4. 参加者の感想

「八木重吉の詩の良さがさらに分かった気がします。」

「今日の訪問は色々勉強になることが多かったです。」

「学生らしく地域とつなぐ企画を実現したいです。」



訪問した「町田市民文学館ことばらんど」



中野屋社長・杉浦信男氏との懇談会

2015年度 ボランティア支援プロジェクト イベントカレンダー

月 日	曜 日	イベント・講座・訪問先	概 要	参加者数
4月28日	火	町田市立ゆくのき学園 「小学校体カテスト」補助ボランティア	町田市立ゆくのき学園大戸小学校の体力・運動能力、運動習慣等調査(体カテスト)補助ボランティア	3名
5月6日	水	ヴィラ町田 傾聴ボランティア&Voice of Winds 演奏会	吹奏楽サークルVoice of Windsによる演奏会と傾聴ボランティア	20名
5月8日	金	町田市立ゆくのき学園 ボランティア見学会	町田市立ゆくのき学園大戸小学校でのボランティア見学会	3名
5月14日	木	ボランティア学生交流会～春カフェ～	新入生向けに、多摩ボラセンおよび各サークル活動をパネル展示と映像で紹介	22名
5月30日	土	町田市立ゆくのき学園 運動会協力ボランティア	町田市立ゆくのき学園大戸小学校の運動会に本学学生サークルが出演	40名
7月15日	水	相原地絆交流会 ～つながりナイト・聴かないと・うどんNIGHT～	うどん屋開都にて、相原地域の皆様との交流会	43名
7月29日	水	相原町八雲神社清掃ボランティア	相原町八雲神社慰霊碑清掃ボランティア	5名
8月8日・9日	土・日	八王子まつり山車曳き体験ボランティア	八王子まつりでの山車巡業	4名
8月13日-8月16日	木-日	宮城県被災地ボランティア ～気仙沼でつながりNIGHT～	復興支援ボランティアとスタディーツアー	15名
10月6日	火	2015夏の学生ボランティア活動報告会 ～広がる世界、つながる仲間～	明星大学にて、本学学生ボランティアの活動報告会	2名
10月24日	土	大戸緑地ふれあいフェスタ・雑木林コンサート	地域のイベントに本学学生が参加	11名
10月26日	月	八木重吉さんのお墓参りと清掃ボランティア	相原出身の詩人八木重吉さんのお墓参り	7名
11月2日	月	秋カフェ～夏ボラ報告会～	夏に行ったボランティアの報告、パネル展示、被災地ボランティアの活動映像上映	6名
11月30日	月	クローバー保育園 ピアノ演奏会	クローバー保育園にてピアノの演奏	62名
12月16日	水	ヴィラ町田 クリスマス☆ボランティア	介護老人福祉施設ヴィラ町田でのクリスマスボランティア	84名
12月15日-12月17日	火-木	キャンパスから被災地を応援するフェア ～あなたの1食が気仙沼を元気に～	EGG DOME食堂にて気仙沼コラボメニューの販売	60名
12月18日	金	学生ボランティア2015年度活動報告会	多摩キャンパス学生による活動報告会	36名
2月2日	火	「学びの道」整備ボランティア	ゆくのき学園と本学を結ぶ「学びの道」を整備	12名
2月4日-2月11日	木-木	大学生ボランティア活動報告&防災イベント	イオンモール多摩平の森にて、他大学と合同でボランティア活動を報告、展示	47名
2月11日	木	学生活動報告会[学生フォーラム]	「地域おこし」「まちおこし」をテーマに、町田・相模原で活躍する大学学生団体が自分たちの活動について報告	45名
3月1日-3月7日	火-月	2015年度活動パネル展	この1年間の多摩ボランティアセンターの活動をパネル展示	7名
3月7日	月	町田市文学館ことばらんど表敬訪問	「八木重吉展」が秋に開催される町田市文学館ことばらんどを表敬訪問	8名
3月13日	日	第二回「学びの道」整備ボランティア	学びの道プロジェクトの第二回	6名

講師、協力先	備考
町田市立ゆくのき学園大戸小学校	子ども発達研究会GROWTHのメンバー3名が事前準備や低学年児童の記録の計測を行った。
介護老人福祉施設 ヴィラ町田	吹奏楽サークルVoice of Windsのメンバー17名による演奏会、学生ボランティア3名による傾聴ボランティアを行った。
町田市立ゆくのき学園	新学生スタッフがゆくのき学園大戸小学校で行われているボランティア活動の見学を行った。
明月堂	新入生向けに、多摩ボランティアセンターおよび各ボランティアサークルの活動をパネル展示と映像で紹介した。カフェ形式をとり、参加者にはドリンクや明月堂の「相原ロール」を提供した。
町田市立ゆくのき学園	YOSAKOIソーランサークルの鳳遥恋、フラダンスサークルのPuaLiliaが演技を披露した。
うどん屋開都	学生スタッフが活動報告を行い、JazzStudyClubがジャズの演奏を披露した。
相原町八雲神社	相原町八雲神社でボランティアツアーの安全を祈願し、第二次世界大戦で亡くなった相原町の方の慰霊碑の清掃を行った。
本町連合会・八幡上町・コンソーシアム八王子	本町連合会、八幡上町町会の山車曳き子として、八王子駅周辺甲州街道を巡業した。
気仙沼市本吉町	ハートtoハートサマーコンサート、大谷海岸花火まつりの運営補助と被災地スタディツアーを行った。
明星大学・中央大学	宮城県被災地ボランティア～気仙沼でつながりNIGHT～についての活動報告を、学生スタッフが行った。
相原町大戸町会・相原源流の会・東京都公園協会	ボランティアサークルIVUSAがふれあいフェスタに、JazzStudyClubがコンサートに参加した。
八木重吉記念館	相原出身の詩人である八木重吉さんの命日に合わせて、お墓参りと清掃のボランティアを行った。
	被災地ボランティアを中心に、夏期ボランティアについての報告、展示、活動映像上映を行った。パネル展示は11月6日(金)まで継続した。
クローバー保育園	クローバー保育園にて、本学学生2名がピアノ演奏会を開催した。
介護老人福祉施設 ヴィラ町田	参加学生4名が手作りのクリスマスカードを利用者の方一人一人に配り、各ユニットごとに「きよしの夜」を歌った。
Slow World Café	被災地支援の一環として、気仙沼産食材を使用したオリジナルメニューを考案し、Slow World Caféにて限定販売を行った。同時に被災地ボランティアの活動パネルも展示した。
	地域の方をお招きして、多摩キャンパス学生が日ごろ行っているボランティア活動についての発表を行った。
町田市立ゆくのき学園・大戸源流森の会	ゆくのき学園と本学を結ぶ「学びの道」の整備作業を、ゆくのき学園、大戸源流森の会の方々と協力して行った。
イオンモール多摩平の森・中央大学・明星大学・実践女子大学・首都大学東京・東京薬科大学	被災地ボランティアに関するパネルを作成し、会場にて設置。学生スタッフは宮城県被災地ボランティアについてプレゼンテーションや企画運営を行った。
町田市生涯学習センター・桜美林大学・玉川大学	「地域おこし」「まちおこし」をテーマに、町田・相模原で活躍する大学学生団体がパネルディスカッション、ポスターセッションを行った。
町田市生涯学習センター	2015年度の多摩ボランティアセンターの活動をすべてパネルにまとめ展示し、町田市の方への周知活動を行った。
町田市文学館ことばらんど・中野屋	秋に「八木重吉展」が開催される町田市文学館ことばらんどを表敬訪問。館内を案内頂き、八木重吉記念館支援を行っている杉浦信男氏と懇談した。
町田市立ゆくのき学園	ゆくのき学園と本学を結ぶ「学びの道」整備ボランティアの第二回を開催。参加学生たちが作業場まで、材料となる丸太を運搬した。